



# いしかりちほん

発行

2016年2月8日

16-6号

〒060-0806

札幌市北区北6条

西7丁目

自治労北海道本部内

石狩地方本部

上山 謙太郎

TEL:011-747-1880

## 中央委員会開催

自治労第五十回中央委員会が一月二十八日(木)から二十九日(金)の二日間にかけて

東京都・T O C有明において行われた。石狩地方本部の中央委員として上山・石狩地方本部書記長と吉田・石狩地方本部女性部長が、政令枠の中央委員として高島・札幌市職連執行委員長が、傍聴者として小田中・全道庁札幌総支部厚生局長がそれぞれ参加した。

二十八日に行われた一般経過報告に対し、斉藤・道本部青年部長から①春闘に対する取り組み強化について②政治闘争の強化について③交流集会運動の推進についての3点について発言があった。また、翌日に行われた春闘方針(案)及び当面の闘争方針(案)の審議

では、三浦・道本部書記長が本部分針を支持・補強する立場で①賃金闘争②公立病院改革対策③政治闘争の3点について発言した。

全国各県本部からの質疑・討論により本部分針が補強され、採決の結果、2016春闘と当面する課題に取り組みためのたたかう方針と、夏の参議院議員選挙では、自治労が推薦する全ての候補者の勝利をめざし、特に自治労の代表である「えさき たかし」現参議院議員の再選に向けて自治労産別の総力をあげて取り組むことが出席中央委員の圧倒的多数の賛成により決定された。

また、本部中央委員会の開催を受け、自治労北海道本部第百二十二回中央委員会が二月五日(金)に札幌市・北海道自治労会館において開催された。

石狩地方本部内の各単組・総支部から中央委員・傍聴含めて二十九名(うち女性七名)の出席があった。

議事の部では、①2015秋期闘争中間総括(案)、②自治労道本部2016国民春闘方針(案)、③当面の闘争方針(案)、④2016年度一般会計予算(案)、⑤衆議院北海道第5区補欠選挙闘争の推進について(案)、⑥第24回参議院議員選挙闘争の推進について・その3(案)、⑦加盟組合の名称の変更及び脱退の承認について(案)の7本の議案が提起され、全道各地本からの質疑・討論により道本部分針が補強され、採決の結果、出席中央委員の圧倒的多数の賛成により議決された。

【石狩地方本部関係発言】  
・札幌市職連 伊藤中央委員  
・札幌市職 森田中央委員  
・江別市職 齋藤中央委員  
・千歳市職 榎本中央委員  
※詳細は次号以降で



また、本部中央委員会の開催を受け、自治労北海道本部第百二十二回中央委員会が二月五日(金)に札幌市・北海道自治労会館において開催された。

石狩地方本部内の各単組・総支部から中央委員・傍聴含めて二十九名(うち女性七名)の出席があった。

議事の部では、①2015秋期闘争中間総括(案)、②自治労道本部2016国民春闘方針(案)、③当面の闘争方針(案)、④2016年度一般会計予算(案)、⑤衆議院北海道第5区補欠選挙闘争の推進について(案)、⑥第24回参議院議員選挙闘争の推進について・その3(案)、⑦加盟組合の名称の変更及び脱退の承認について(案)の7本の議案が提起され、全道各地本からの質疑・討論により道本部分針が補強され、採決の結果、出席中央委員の圧倒的多数の賛成により議決された。

**<署名・支持者カードの取り組み>**

①戦争法の廃止を求める統一署名  
②えさき、徳永支持者カード  
③池田支持者カード

現在、石狩地方本部では、以上3つの取り組みを提起しています。各単組・総支部での取り組みをお願いいたします。

**第1次集約日 2月26日(金)**

つながろう。ともに声を上げ、  
明るい未来を咲かせよう。

しっかり見つめる  
未来も今も。

**えさき たかし** 参議院議員 (比例代表選出)

**徳永 エリ** 参議院議員 (北海道選挙区選出)

自治労石狩地方本部は第24回参議院議員選挙に「えさきたかし」さんを組織内候補として、「徳永エリ」さんを推薦候補としてそれぞれ決定しています。



自治労石狩地方本部は、2016年1月15日に開催された第2回執行委員会において、4月24日に投開票される衆議院北海道5区選出議員補欠選挙の候補予定者として「池田まき」さんを推薦決定しました。

今回の「いしかりちほん」では、自治労石狩地方本部が推薦する「池田まき」さんについてお伝えします。

## 新しい5区をつくる、そして5区から日本をつくる

「池田まき」さんは20年間福祉の第一線で働いてきたフリーソーシャルワーカーです。「誰一人置いてきぼりにしない」をモットーに現場主義を貫いてきました。

### ずっと「平和」を。もっと「安心」を。

飢餓、貧困、格差、紛争、難民、テロ。立憲主義、民主主義の危機。世界の、そして日本の大きな課題です。強い者による強い者たちのための政治が、こうした問題を深刻化させています。権力の暴走を止めなければなりません。声なき声をもよく聞き、政治に反映させなくてはなりません。

「誰一人、置いてきぼりにしない」「誰もが安心して暮らせる社会をつくる」

私、池田まきはそれをモットーに、福祉の現場で、既成概念にとらわれず行動を起こしてきました。さらに、環境、経済、政治など広い分野で社会的な危機の解決に取り組んでいくために、池田まきは北海道5区から、皆さんと共に、平和、いのち、暮らしを守る闘いに挑みます。

**ホンキ!**

「小さな声」を国政へ!

**イケマキ**

安全保障関連法を  
廃止させ、  
戦争をしない  
国をつくる。

立憲主義、  
民主主義を  
取り戻す。

貧困・格差を  
この国からなくし、  
誰もが安心して  
暮らせる  
社会をつくる。

### イケマキを知る5つのキーワード

#### イケマキは 現場主義

言葉にならない辛さや想い、願いは、その人からにじみ出てくるもの。現場に行かねば、ご本人にお会いしなければ真実は見えない。だから、まずは現場へGO!



#### イケマキは 勉強家

仕事と子育てをしながら15年かけて大検と福祉分野の資格を取得。さらに公共政策大学院へ。社会の不条理を解決するには、まず知ること。「できない」理由はたくさんあるけれど、どんな時も「できる」方法を探すことをあきらめない。

#### イケマキは 情熱的

スター選手で勝つのではなく、誰もが個々の力を発揮するチームが本当に強い。それを社会人バレーで体感。熱い気持ちでみんなを巻き込み、全員参加のチームづくりを行った経験が「置いてきぼりをつくらないまちづくり」の構想につながる。

#### イケマキは 愛の人

小学生の頃、自閉症の友人が突然、養護学校へ転校。別れの言葉も言わせてもらえなかったことに疑問と憤りを感じたイケマキ。分けることが差別を生む。人は、みんな尊重されるべき。それはずっと持ち続けている信念。

#### イケマキは 行動派

人も社会も、もっと良くなっていく。そう思うから、大きな声に負けない。多数の声に負けない。常識とされる考えに負けない。権力を恐れない。イケマキは行動し、進化し続ける。



#### 池田まき プロフィール



1972年5月24日、東京都生まれ。北海道大学公共政策大学院修了。社会福祉士、精神保健福祉士、介護福祉士、ヘルパー1級などの資格を保有。

facebookページも運営中!

池田まきネットワーク



【主な職歴】東京都板橋区役所福祉事務所／北海道NPO被災者支援ネット生活相談センター長／札幌市北区第二地域包括支援センター社会福祉士／北海道社会福祉士会被災生活保護受給者生活再建コーディネーター及びサポーター

【主な活動】反貧困ネット北海道運営委員／北海道社会福祉士会企画総務委員／北海道大学公共政策大学院HOPS研究センター研究員／内閣官房地域活性化伝道師（～2014年）

討議資料